□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名　グループホーム　高松　※

日付　平成18年3月4日

評価機関名　有限会社　アウルメディカルサービス

■評価調査員　：　薬剤師･介護支援専門員

介護経験歴6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（　改善状況のコメントがあります！）　※

外部評価の結果

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）　（記述式）

田園の中に佇み、敷地が広く建物内もゆとりがあって、ゆっくり過ごせていて、いつも入り口のドアは開放されていることも、ここならではの安全性の現われのようです。日当たりも大変良く、建物内が明るく感じました。
隣接しているグループ内の施設には医師や看護婦が常駐しているので、何かあればすぐに対応してもらえます。入居者やその家族、職員への大きな安心となっています。
職員が入居者一人ひとりの生活能力を把握していて適切な個別対応がなされているので、入居者は楽しみながら暮らしていました。
頻繁に行われているレクリエーションや、毎日の生活振りにおいても、家族が、どのような生活をしているのかが手に取るように分かるように記録も詳しく記帳されていました。
保育園児やボランティアの人たちも良く訪問されていますし、外部の人たちとの交流も出来ていることも、ゆとりがある顕れでしょう。

改善の余地があると思われる点　（記述式）

3ユニットありますが、3つのグループホームがあるようでした。昨年よりは交流があるようですが、まだまだ、ユニット間の垣根があるようです。入居者個々の記録は大変詳しく書かれていますが、記録を書くことに時間が取られ過ぎているようにみえました。簡素化することで、今以上に介護に時間を費やすことも可能ですし、何か新しいことも見出すことも出来ると思います。そうすることで、さらに入居者も安心できると思います。

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目　グループホームとしてめざしているものは何か　（記述式で回答）

記述回答

「生きがいの探求」「生きがいの創造」を理念に、入居者一人ひとりに合った生きがいや意欲を高めることを見つけるようにしています。入居者それぞれに興味があること、個々に合ったものを見つけてあげ、なければ入居者に合うものを探してあげることを目指しています。昔やっていた仕事を思い出すようなものを探します。また、食事の準備、掃除、洗濯などの家事を共同で行い、『ゆっくり、楽しく、一緒に』をモットーに、家庭的で落ち着いた環境を作るように取り組んでいます。

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目　入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か

記述回答　(記述式で回答)

デイサービスのイメージを持っている入居者も居り、夕方になると帰ろうとします。「家族に連絡するから」などと伝えることや一緒に外に出たり、散歩をしたりして介護をしています。中には自分は働きに来ていると思っている入居者もいて、他の入居者に伝えると大変喜びます。また、洗濯物の片付け、食器ふきなどの仕事も一緒にすることで、落ち着けるようにしています。

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者･家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り･情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法･盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見･対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

記述項目　一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

記述回答　(記述式で回答)

洗濯物を干すこと、たたむこと、食事の手伝いなどの個々に出来ることをお願いしています。大正琴に合わせて歌を謡う、居間の壁に貼る大きな貼り絵を職員と一緒に作るなど、レクリエーションを通してできることを見つけています。ライバシーについては家族に説明し、了解を得ています。

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目　サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

記述回答

ユニット間の交流を年3から4回できるように調整しています。全体的に介護度が高くなり、センサーマットを使用する入居者が多くなってきたので、転倒防止用にセンサーマットを手作りして役立てています。今までブザーの音が同じで区別がつかないことがありました。音色を変えて誰の居室か分かるようにしたようです。
天気がよければ管理者の判断で庭にテーブルを運んで食事をするなど楽しく暮らせるように対応しています。